

第64号
 編集 部 真 玉 編 集
 発行 所 川崎市立川崎高等学校同窓会
 川崎市川崎区中島3-3-1
 〒210-0806 電話(244)4981
 責任 者 田 中 威 刷
 貴 印 有 限 会 社 小 杉 印 刷

真 玉



同窓会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。さて平成二十八年度の同窓会活動も、事業計画通りに遂行することができました。卒業式、入学式への参列、同窓会総会開催、体育祭、神無祭(文化祭)への参加、同窓会会報「真玉」の発行などおかげをもちまして予定通りに完成することができました。これも同

総会のご案内

お友達やお知り合いの同級生の方々にもお声がけのうえ、ぜひ、ご出席ください。また、旧・現職員の先生のご出席も役員一同心からお待ちいたしております。今年度は京急川崎駅前にある「ダイスビル」六階・中華料理「煌蘭」にて開催いたします。本年も昨年同様多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

日時 4月29日(土・祝)
総会 11時30分～12時10分
懇親会 12時20分～14時30分

平成二十九年 同窓会総会

於ダイスビル六階
中華料理「煌蘭」

お友達やお知り合いの同級生の方々にもお声がけのうえ、ぜひ、ご出席ください。また、旧・現職員の先生のご出席も役員一同心からお待ちいたしております。今年度は京急川崎駅前にある「ダイスビル」六階・中華料理「煌蘭」にて開催いたします。本年も昨年同様多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

平成二十八年度 総会及び懇親会報告

阿部敏校長先生より、同窓会に対し、「日頃の教育振興に、ご後援、またご支援を頂き、ありがとうございます」と同窓会へのお礼を述べられました。また、永塚敬典先生の異動の説明、創立百五十年を迎え、さらに中高一貫校まで入り、来春は第一期の卒業生を出すことが出来ることへの挨拶があり、「同窓会のご活躍とご後援をお願いします。」とおことばで締めくくられました。

阿部敏校長先生より、同窓会に対し、「日頃の教育振興に、ご後援、またご支援を頂き、ありがとうございます」と同窓会へのお礼を述べられました。また、永塚敬典先生の異動の説明、創立百五十年を迎え、さらに中高一貫校まで入り、来春は第一期の卒業生を出すことが出来ることへの挨拶があり、「同窓会のご活躍とご後援をお願いします。」とおことばで締めくくられました。

阿部敏校長先生より、同窓会に対し、「日頃の教育振興に、ご後援、またご支援を頂き、ありがとうございます」と同窓会へのお礼を述べられました。また、永塚敬典先生の異動の説明、創立百五十年を迎え、さらに中高一貫校まで入り、来春は第一期の卒業生を出すことが出来ることへの挨拶があり、「同窓会のご活躍とご後援をお願いします。」とおことばで締めくくられました。

阿部敏校長先生より、同窓会に対し、「日頃の教育振興に、ご後援、またご支援を頂き、ありがとうございます」と同窓会へのお礼を述べられました。また、永塚敬典先生の異動の説明、創立百五十年を迎え、さらに中高一貫校まで入り、来春は第一期の卒業生を出すことが出来ることへの挨拶があり、「同窓会のご活躍とご後援をお願いします。」とおことばで締めくくられました。

阿部敏校長先生より、同窓会に対し、「日頃の教育振興に、ご後援、またご支援を頂き、ありがとうございます」と同窓会へのお礼を述べられました。また、永塚敬典先生の異動の説明、創立百五十年を迎え、さらに中高一貫校まで入り、来春は第一期の卒業生を出すことが出来ることへの挨拶があり、「同窓会のご活躍とご後援をお願いします。」とおことばで締めくくられました。

阿部敏校長先生より、同窓会に対し、「日頃の教育振興に、ご後援、またご支援を頂き、ありがとうございます」と同窓会へのお礼を述べられました。また、永塚敬典先生の異動の説明、創立百五十年を迎え、さらに中高一貫校まで入り、来春は第一期の卒業生を出すことが出来ることへの挨拶があり、「同窓会のご活躍とご後援をお願いします。」とおことばで締めくくられました。

阿部敏校長先生より、同窓会に対し、「日頃の教育振興に、ご後援、またご支援を頂き、ありがとうございます」と同窓会へのお礼を述べられました。また、永塚敬典先生の異動の説明、創立百五十年を迎え、さらに中高一貫校まで入り、来春は第一期の卒業生を出すことが出来ることへの挨拶があり、「同窓会のご活躍とご後援をお願いします。」とおことばで締めくくられました。

阿部敏校長先生より、同窓会に対し、「日頃の教育振興に、ご後援、またご支援を頂き、ありがとうございます」と同窓会へのお礼を述べられました。また、永塚敬典先生の異動の説明、創立百五十年を迎え、さらに中高一貫校まで入り、来春は第一期の卒業生を出すことが出来ることへの挨拶があり、「同窓会のご活躍とご後援をお願いします。」とおことばで締めくくられました。

同窓会をよろしく

同窓会総会は毎年四月二十九日に開催しています。ご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。同窓会活動の発展につなげてまいります。ご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。同窓会活動の発展につなげてまいります。ご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。同窓会活動の発展につなげてまいります。

懇親会

懇親会後の懇親会は、円卓を囲み和やかな雰囲気の中、交流もあがり、良い雰囲気の中で過ごされています。ご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。同窓会活動の発展につなげてまいります。ご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。同窓会活動の発展につなげてまいります。

懇親会に出席の先生方

- | | |
|-----|-----------|
| 旧職員 | 赤地 靖男 先生 |
| | 八木 唯男 先生 |
| | 藤野 博 先生 |
| | 北村 清市 先生 |
| 現職員 | 熊谷 頼忠 先生 |
| | 浅野 繁 先生 |
| | 青木 彌之輔 先生 |
| | 草柳 又六 先生 |

新役員紹介

- | | |
|-------|--------------|
| 名譽会長 | 阿部 敏 校長 |
| 名譽副会長 | 山崎 輝美 副校長 |
| 名譽顧問 | 関根 泰三 教頭 |
| 顧問 | 田中 威 (三十二年卒) |
| 事務局長 | 伊藤三千代 (事務局長) |

神無祭

神無祭は、同窓会室前の大会議室に場所を移し、例年通り、卒業アルバム・会員の手工芸品・同窓会所有資料の展示をいたしました。また、年々人気急上昇の「紙紐力ゴ作り」は、準備万端整えて来場者の方をお迎えしました。今回は「力ゴ作り教室」から「カゴ作りワークショップ」と名前も改め、また時間を区切った開催となりました。それでも満員でお待ちいただくほどの盛況ぶりでした。今年度はさらに万全の準備で皆様をお迎えしたいと思

ただし平成二十八年卒と二十九年三月卒業生は一千五百円。平成二十八年度事業報告、平成二十九年会計報告、同 会計監査報告、平成二十九年事業計画(案)、平成二十九年会計予算(案)その他。懇親会終了後は懇親会が

開かれます。会場の「煌蘭」は、地域の皆様にご好評なお店で様々なお料理、美味しい料理が楽しめるお店です。総会は十一時半開催で、早く到着された方には京急川崎駅前「ダイスビル」を過ぎ、東海道を多摩川に向かって歩くこと六分程で「東海道川崎交流館」が「東照」の看板の手前に

あります。かつての川崎宿の様子や旅をする人の衣装を着て写真を撮る場も設定されています。ふらり見学はいいかでしょうか。(詳細は四面に) 年一回の機会です。ぜひ世代を越えた会員や、恩師との再会で楽しいひとときをお過ごしください。お待ちしております。

引き続き、来賓紹介で旧職員を赤地靖男先生、現職員を小原隆和先生から紹介いただきました。乾杯は青木彌之輔先生にお願いし、食事・懇談となり、例年通り、卒業アルバム・会員の手工芸品・同窓会所有資料の展示をいたしました。

引き続き、来賓紹介で旧職員を赤地靖男先生、現職員を小原隆和先生から紹介いただきました。乾杯は青木彌之輔先生にお願いし、食事・懇談となり、例年通り、卒業アルバム・会員の手工芸品・同窓会所有資料の展示をいたしました。

引き続き、来賓紹介で旧職員を赤地靖男先生、現職員を小原隆和先生から紹介いただきました。乾杯は青木彌之輔先生にお願いし、食事・懇談となり、例年通り、卒業アルバム・会員の手工芸品・同窓会所有資料の展示をいたしました。

引き続き、来賓紹介で旧職員を赤地靖男先生、現職員を小原隆和先生から紹介いただきました。乾杯は青木彌之輔先生にお願いし、食事・懇談となり、例年通り、卒業アルバム・会員の手工芸品・同窓会所有資料の展示をいたしました。



- | | |
|---------------|----------------|
| 江守千恵子 (二十七年卒) | 松本 茂 (四十六年卒) |
| 中島 光枝 (四十年卒) | 野村 智 (五十四年卒) |
| 辻岡 智 (五十年卒) | 福本 圭祐 (平成十二年卒) |
| 菅沼 暁一 (三十七年卒) | 古谷 貴史 (平成十七年卒) |
| 三谷 輝夫 (三十九年卒) | 竹内 義雄 (三十年卒) |
| 篠原 洋子 (四十二年卒) | 友澤 瑞恵 (五十六年卒) |
| 相川 博史 (四十二年卒) | 寺地美恵子 (三十八年卒) |
| | 矢島 俊雄 (四十一年卒) |
| 顧問 | 赤地 靖男 (旧職員) |
| | 藤野 博 (旧職員) |
| | 小原 隆和 (現職員) |
| | 鈴木 智 (現職員) |
| 事務局 | 伊藤三千代 (事務局長) |

以上、二十四名が選出されました。

附属中学校第一期卒業生(三クラス)が 高校普通科に入学

平成二十六年四月に、附属中学校に入学した三クラスの生徒達が、今年の四月に普通課程に入学します。普通科募集のクラスと併せて四クラスの普通科と、生活科学科・福祉科各一クラス、合計六クラスが一年生として勉強やクラブ活動に、学校生活を始めます。

阿部校長先生に、記念すべき初めての附属中学校卒業生を迎えるにあたり、「一貫教育と高校生生活」教育を思うお気持ちを伺いました。



同窓会の皆様には、母校の教育活動と在校生のために、平素から温かいご支援とご後援を賜り、厚くお礼申し上げます。

中学校卒業に際して

附属中学校長 和泉田 政徳

附属中、和泉田校長先生に、記念すべき一回卒業生を本高校に送るにあたり、開校準備、「一貫教育」生徒を思うお気持ちを伺いました。



本校は平成二十六年四月に川崎市公立中学校五十二番目、市内公立初の中高一貫教育校として、一一九名の生徒が、三月に初めての卒業生を迎えることに成ります。この三年間の学校づくりに様々な方々にご支援ご指導並びにご協力を仰ぎながら進めていくことができたと思います。そして、同窓会の皆様方には、大きな支えとなっていたいただきましたことに感謝申し上げます。

長を感じながら生活できることに感謝しています。平成二十七年の年度末でしたが、介護福祉士国家試験の発表があり、「本校福祉科三十九名全員が合格」という嬉しい知らせが届きました。

彼らをつらぬいて

さて、本校は、平成二十六年に附属中学校が開校し、本月初の中高一貫教育校として新たな一歩を踏み出し、いよいよ平成二十九年四月

返りますと市立はるひ野中学校長から開校準備担当として、附属中学校の準備を仰せつかりました。二年間の準備期間中に校舎の設計への要望や依頼を反映してもらえ、百%の達成にはなりませんでしたが、多くの要望を組んでもらうことができた。この当時の川崎高校は改築に伴いプレハブ造りで、何度も足を運びながら準備委員として入った先生方と様々な協議を重ねていきました。

その話し合いの中で出てきた言葉がLEDAD(リード)です。体験を重ね多くの学びを行い、積極的に行動しながら夢の実現を図る大きな目標となりました。また、LEDADを支える三つの柱「体験・探究」「ICT活用」「英語・国際理解」を設けました。この三つの

この三年間では、二年ごとの節目を大切にしていこうというコンセプトから、「定期考査、充実期、発展期」と捉え様々なことに取り組んできました。中でも「総合的な学習の時間」という教科では、中学二年生で、君津農協と連携を図りながら枝豆の栽培から加工までを切り口として「農業」について学びました。個々のテーマを設定し、探究しながら発表まで行いました。

このような取り組みも中学校・高校の六年間を見通した授業を行うことができたからこそのたまものだと考えています。各教科も三年間で完結することなく、六年間の土壌の上に成り立つと考えています。



情報通信技術機器
壁掛けプロジェクター
可動式履貫スクリーンボード
無線LANアクセスポイント

の中高合同開催があり、す。とりわけ今年度の体育祭は高校三年生、中学三年生の六年生、合計で千人を超える生徒たちが本校のグラウンドを使って初めての体育祭となりました。当日は、高校三年生が中心となり、下級生をリードして素晴らしい演技を披露してくれました。この中高合同の体育祭を通して中学生は「体

六年間の継続的な学習

学習面では、三月に高校の教員による附属中学二年生対象の体験学習を実施し、中学生の「高校の内容が理解できる」という声や「高校の勉強を頑張る」「高校の先生の優しさに感謝」などの感想がありました。

また、中高一貫に取組んでいる体育祭は、大きな変化を遂げました。とどろきアリーナで二年間、今年度初めて本校グラウンドで行うことができました。中学生と高校生が一緒に行うことで連帯感が生まれ新たな構図が見えて来ていると思います。神無祭も同様、中学生として学習成果の発表の場と捉え、各教科、文化部、学生を取り組むことを紹介しています。

生徒たちは学校行事、生徒会活動、学習、部活動や地域でのボランティア活動等に真剣に取り組んでおり、本校には活気とともに新たな時代に向けての大きな流れが生まれていっています。

生徒の輝きと「夢の実現」

私たち中学校では、今までの取り組みを通してご理解いただいた生徒・保護者の皆さんに精一杯の力を注いでまいりました。特に附属中学校の一期生として卒業生を川崎高校へ送り出すわけですが、高校では「自分の夢の実現」に備える準備をしっかりと行い、夢は自分の手でつかむもの、与えられたものでは

今年度二十八年度より、教頭となりました。よろしくお願致します。本校には今から十二年前の平成十六年度より、国語科の教員として異動してま

きと自分の目標に向かって学校生活を送る彼らをサポートするところを心がけています。日頃の生活で頑張っている高校生姿とともに、彼らの川崎高校に対する思いという内面から発せられるメッセージほど中学生や保護者の心に響くものはないと考えています。

今年になって現場を離れてみると生徒とのふれ合いが教員としてのエネルギーの原動力だったのだと、つくづく実感しています。この職は、言わば教育現場という最前線の後方支援といった役割です。生徒の皆さんや、現場の先生が少しでもスムーズに学校生活ができるように、私なりに頑張っていきたいと思っています。同窓会役員の方のご理解・援助に感謝し、協力しながら、やっていきたいと思います。

二面担当 笹沼 暁一
相川 博史
古谷 貴史

在校生の活躍



笑顔いっぱいソフトボール部

- ソフトボール部 春季関東大会 県予選会 ベスト16
- 高校総体 県予選 優勝
- 県民大会 ベスト16
- サッカー部 川崎市第一大会 3位
- バドミントン部 関東大会地区予選 優勝
- 男子短距離 準優勝
- 走高跳 優勝
- 走高跳 準優勝
- 書道部 神奈川書道コンクール 奨励賞2名
- J A書道コンクール 奨励賞2名
- J A共済神奈川賞2名
- 神奈川高校生書道展 特選2名
- 川崎市高等学校合同芸術祭教育賞 1名
- 教育委員会賞 2名
- P T A奨励賞 1名
- 美術部 神奈川高校美術展文化フェスタ展示作品選出
- 川崎市高等学校 合同芸術祭 教育賞
- 合同芸術祭 受賞
- 川崎市内高等学校 連合音楽会 参加
- 介護老人福祉施設 幸福苑クリスマスコンサート 出演
- 中盛会中島商店街クリスマスコンサート 参加

このように、本校は、平成二十六年四月に川崎市公立中学校五十二番目、市内公立初の中高一貫教育校として、一一九名の生徒が、三月に初めての卒業生を迎えることに成ります。この三年間の学校づくりに様々な方々にご支援ご指導並びにご協力を仰ぎながら進めていくことができたと思います。そして、同窓会の皆様方には、大きな支えとなっていたいただきましたことに感謝申し上げます。

平成二十八年 赤地会 陸上部 O B 会

昭和四十一年卒 遠藤陽子(柿沼)

ふと立ち止まり、空を見上げると青く澄み渡った空に飛行機雲が流れて行きます。

六月二十五日、川崎モアースビル内の日本料理店にて、昭和三十九年、四十七年卒業の部員十二名が集合しました。そうして、当時の部活顧問、コーチだった赤地先生を囲み、思い出話に桜や梅の花が咲きまじった。先生は五十年経った今でも若々しく、精悍で優しいまなざしは昔のままでいらつやいました。



昭和五十年卒 三年 A 組クラス会

昭和五十年卒 城戸せつ子(鈴木)

陽春の候、このたび昭和四十九年度卒業、元三年 A 組のクラス会「選層会」を四月十日(日)十三時より十六時まで横浜陽軒本店三階にて開催しました。

同級生って...いいなあ

昭和四十四年卒 斎藤 明夫

私たちは川崎高校定時制昭和四十三年卒業生で、二、三歳位の年齢差があり、在学時は年長者が若い者の面倒を見たり、相談に乗ったりしている光景がみられました。

昭和四十九年卒 同期会

昭和四十九年卒 阿部春美(鈴木)

(ゴルフや水泳)という方が多く、かつてのリーダーの「皆んな陸上部じゃないか」という力強いお言葉を聞き、「そっ、私も昔はアスリートでカモシカのような細い足で短距離を走っていたんだ」と記憶がよくなりました。



昭和四十九年卒の私達は今年選層を迎え、久しぶりに同期会を開催しました。



(同級生 世話役)

入学時は右も左も解らず、やんちゃな私達を導いて頂いた四年時の担任の矢島先生(Aクラス)川久保先生(Bクラス)飯沢先生(Cクラス)そして大野先生、阿部先生、湯沢先生、誠にありがとうございました。

少し落ち着いたところで、プレッセルを口に加え輪ゴムを渡すゲームを四チームに分かれて行いました。

二十八年十一月一九日(土)に、七回目の三十一年度〜三十九年度卒業のバレー部 O B 有志の懇親会が武蔵小杉「精養軒」にて開かれました。

学生時代、山中湖のバレー部合宿で、寝食を共にし、練習をした、川崎高校時代の仲間の仲間、何年経っても仲間、だからこそ大切に、年に一度の会う機会、この集まりを楽しみにして。

近 況 報 告

七十才になりました！気がつく、正座が出来なくなり、白内障の手術をし、記憶力が低下したりする自分が情けなくなります。

昭和四十年卒 中島光枝(早川) て、活力が出てきます。時にはそんな楽しい時間を過ごしたり運動したり、いつまでも元氣な身体を保ちたいと思

昭和四十七年卒 飯田 弘子 私達も選層を迎えて二年が経ち、昔を振り返る時期になりました。

三面担当 江守千恵子 寺地美恵子 矢島 俊雄

昭和三十七年卒 笹沼 暁一



同窓会に参加して

昭和三十九年卒 バレー部 O B 有志の会 第七回 懇親会

阿部春美(鈴木) 昭和三十四年卒 鈴木 彰

昨日、千葉に住んでいる義理の弟夫婦から思いがけず、京都方面に紅葉狩りに行かないかと誘われ、妻とともに行くことにし、相談した結果、琵琶湖畔に位置する湖東三山(西明寺・金剛輪寺・百濟寺)に行くことにし、交通は、義弟の自家用車で行くことにしました。

昭和三十四年卒 鈴木 彰

修学旅行の思い出

昭和三十四年卒 鈴木 彰

五十年が経って

昭和四十一年卒 遠藤陽子(柿沼)

昭和四十一年卒 遠藤陽子(柿沼)

昭和四十一年卒 遠藤陽子(柿沼)

昭和四十一年卒 遠藤陽子(柿沼)

昭和三十七年卒 笹沼 暁一

昭和三十七年卒 笹沼 暁一

昭和三十七年卒 笹沼 暁一

同窓会に参加して

昭和四十七年卒 飯田 弘子

昭和三十四年卒 鈴木 彰

昭和三十四年卒 鈴木 彰

昭和三十四年卒 鈴木 彰

修学旅行の思い出

昭和三十四年卒 鈴木 彰

修学旅行の思い出

昭和三十四年卒 鈴木 彰

修学旅行の思い出

昭和三十四年卒 鈴木 彰

修学旅行の思い出

昭和三十四年卒 鈴木 彰

修学旅行の思い出

昭和三十四年卒 鈴木 彰



同窓会に参加して

昭和三十四年卒 鈴木 彰

平成二十七年・二十八年 寄付をいただいた方

平成二十七年・二十八年特別会費(寄付金)をご寄付いただいた方々のご芳名を公表させていただきます。感謝の意を表し領収にかえさせていただきます。ありがとうございました。敬称略順(同/旧姓)

◎平成二十七年・二十八年 寄付金

平成二十八年一月十一日迄

平成二十九年一月十日迄

○総額百十六件

六十二万七千円

- 旧職員 太田哲彦先生ご逝去に伴い奥様より一万円 安田ふみ・高橋久美子・横山淳二一万円 安田三三子・深瀬米子・原美和子・青木弥之助・市野典明・長嶺憲二五千元 穂積啓子・井澤(小林)明美・宮津健一・大石和代・松本芳弘・坪田四郎・織田村佳之・赤地靖男・八木唯男・吉田幸子三千元 現職員 内藤ふみ子一千元
- 昭和六年卒 竹内能富子 一万円
- 昭和九年卒 萩原(井出)なかり様ご逝去に伴い正弘様より五万円
- 昭和十三年卒 西島文字二千元
- 昭和十四年卒 松下(浅井)千枝二千元
- 昭和十五年卒 須山(原)富子五千元
- 昭和十六年卒 鈴木(強瀬)清子一万円
- 昭和十七年卒 岸静枝一万円
- 昭和十八年卒 東倉(浅井)輝子四千元
- 昭和二十年卒 篠田(大石)喜久江一万円 大澤(岸)萬知枝・菅原(小野瀬)和子・山崎(米沢)静子五千元 穴沢(中川)登美三千元
- 昭和二十一年卒 鈴木(宮川)充子様ご逝去に伴い内藤睦美様より一万円 宮田(吉澤)シゲ一万円 武石(鹿野)展代・小磯(杉崎)ヒサ子・柳田(田中)久江三千元
- 昭和二十三年卒 宮脇(土屋)美智子五千元 土屋(大沢)眞希生三千元
- 昭和二十四年卒 西川(田代)美代・菱沼(陶山)紀美子一万円
- 昭和二十七年卒 山本(田村)静子・菅野利孝一万円 江守千恵子三千元
- 昭和二十八年卒 河又(高橋)節子・関谷(武井)和子五千元
- 昭和二十九年卒 三村(山中)百合子五千元 高木昭房(小野)(松浦)民江三千元 高橋登茂子三千元
- 昭和三十年卒 小幡(杉田)弘子様ご逝去に伴い恭一郎様より一万円 南波(沼澤)徳子五千元 竹内義雄三千元
- 昭和三十一年卒 矢嶋(高梨)江美子五千元 井出澄子・菅野(渡辺)恵子一千元
- 昭和三十二年卒 牧野(太田)恂子五千元 田代(北村)阿紀子三千元
- 昭和三十三年卒 森美恵子六千元 土田(角谷)節子三千元 石井(深田)直子二千元
- 昭和三十四年卒 神野享充四千元
- 昭和三十五年卒 平山曉子五千元
- 昭和三十六年卒 喜友名悦子・岡田(村上)昌子・深川三津夫三千元
- 昭和三十七年卒 笹沼眺一五千元
- 昭和三十八年卒 前原茂・寺地(高梨)美恵子三千元 鈴木(鳥養)清子二千元
- 昭和三十九年卒 三谷輝夫三万円 斎藤(村松)順子一万円 尾崎(後藤)弘子六千元
- 昭和四十年卒 杉山(北村)登志子一万円 中島(早川)光枝・岩崎(岡部)光子五千元 山田(飯野)美恵子三千元
- 昭和四十一年卒 山本恭介・遠藤(柿沼)陽子・戸井田芳一万円
- 昭和四十二年卒 佐藤(菅原)文子二千元 宮里(岡嶋)照美一千元
- 昭和四十三年卒 北村正美四千元
- 昭和四十四年卒 鈴木(関)洋子・小林(鈴木)美砂子・新保晶利・安斉春雄・加藤章・人見高夫三千元
- 昭和四十五年卒 石渡(依田)範子五千元
- 昭和四十六年卒 及川(渡瀬)三代子三千元 松本茂・川島純一三千元
- 昭和四十七年卒 倉科(栗原)君代六千元 木所(田辺)京子五千元 細川(上)一円
- 昭和四十八年卒 弘瀬友里加二千元
- 昭和四十九年卒 竹腰美香一円
- 昭和五十年卒 田中仁八千円 城戸(鈴木)せつ子三千元
- 昭和五十六年卒 桑山(遠藤)智英子一万円 友澤瑞恵三千元 池田知聰一千元
- 昭和六十三年卒 佐々木(佐藤)和江一万円 矢尾板裕二千元
- 平成六年卒 市野勉三千元
- 平成七年卒 奥山隆三郎三千元
- 平成九年卒 伊藤賢治三千元
- 平成十八年卒 伊藤賢治三千元
- 平成二十七年卒 竹腰美香一円

先生方の異動

- 平成二十八年三月付
- 退職
 - 飯島 優子先生 英語科
 - 荒井 京子先生 事務長
 - 一転任
 - 覚張 俊哉先生 商業高校教頭へ
 - 上原 一也先生 高津高校へ
 - 黒木真理子先生 高津高校へ
 - 田丸 祐樹先生 川崎高校(定)へ
 - 樋口 優子先生 川崎高校(定)へ
 - 鈴木 敏夫先生 川崎高校(定)へ
 - 柳田 佳子先生 平間小学校へ
 - 中野 敏宏先生 殿町小学校へ
 - 転任
 - 米倉 雅実 商業高校へ
 - 関根 泰三先生 教頭
 - 佐藤 孝一先生 事務長
 - 米倉 雅実先生 理科科

同窓会より

「真玉」をお送りしても宛先不明で返却されることがあります。住所変更された方は事務局までご連絡をお願いいたします。なお、クラス会・同期会等で同窓生の新任所を入手された方も事務局までご連絡を下さい。

●振り込め詐欺・勧誘にくれくれもご注意ください。

平成27年度 事業報告

4月7日 入学式 (田中会長・江守・中島副会長出席)

4月13日 会計監査・幹事会・役員会

4月27日 総会準備

4月29日 幹事会・総会・懇親会

5月～ 名簿資料整理と原簿整理

5月12日 体育祭 (田中会長・江守副会長・赤地顧問出席)

6月8日 役員会(11名出席)

9月28日 役員会(13名出席)神無祭の打合せ

10月5日 役員会(8名出席)神無祭の打合せ

10月16日 神無祭(9名出席)

10月17日 神無祭(11名出席)

10月26日 役員会(12名出席)

11月17日 真玉編集会議(11名出席)

1月12日 真玉編集会議(10名出席)

1月18日 真玉編集会議(11名出席)

1月25日 真玉編集会議(11名出席)

2月1日 真玉校正(7名出席)

2月8日 真玉校正(8名出席)

3月1日 真玉63号発行(約13,000通配布)

3月4日 新入会員(卒業生クラス代表)と顔合せ(田中会長出席)

3月5日 卒業式 (田中会長・江守・中島副会長出席)

3月5日 新入会員名簿(平成28年卒業生配布)

「真玉」をお送りしても宛先不明で返却されることがあります。

住所変更された方は事務局までご連絡をお願いいたします。

●振り込め詐欺・勧誘にくれくれもご注意ください。

平成27年度 通常会計決算報告

3月31日現在

収入の部	項目	予算額	決算額	差引残額	摘要
収入の部	繰越金	1,815,629	1,815,629	0	
	会費	2,097,000	2,081,000	16,000	250円×8319人
	寄付金	600,000	716,072	-116,072	寄付金
	普通預金利息	300	222	78	銀行利息
	雑収入	10,000	16,000	-6,000	名簿・記念誌販売
	合計	4,522,929	4,628,923	-105,994	
支出の部	事業積立金	500,000	500,000	0	事業積立金(定期預金)
	真玉発行費	1,500,000	1,451,835	48,165	真玉63号印刷・送料・他
	総会費	300,000	156,732	143,268	総会諸費用
	印刷費	100,000	81,032	18,968	新入会員名簿
	会議費	130,000	87,709	42,291	役員会・幹事会・会議費
	通信費	80,000	51,786	28,214	はがき・切手・他
	交通費	170,000	161,000	9,000	役員・幹事・交通費
	備品費	150,000	99,000	51,000	冷蔵庫・ビデオカメラ
	消耗品費	30,000	17,236	12,764	文具費・他
	人件費	400,000	398,500	1,500	事務局手当
	生徒会活動費	20,000	20,000	0	神無祭補助金
	神無祭費	20,000	64,480	-44,480	神無祭諸費用
	雑費	100,000	45,562	54,438	体育祭・卒業祝金・野口先生弔電
	予備費	1,022,929	0	1,022,929	
合計	4,522,929	3,134,872	1,388,057		

4,628,923 - 3,134,872 = 1,494,051 差引残額 1,494,051円は次年度に繰り越します。

以上、平成27年度通常会計決算報告をいたします。

平成28年4月29日 川崎市立川崎高等学校同窓会

会長 田中 威雄
 会計 竹内 義恵
 同 友 澤 瑞恵

監査の結果、適正であることを認めます。

平成28年4月29日 川崎市立川崎高等学校同窓会

会計監査 矢島 俊雄
 同 寺 地 美恵子

編集後記

集後記を書くことになり、真玉に携わって何年になるのだろうかと考えました。八年あるいは十年になるのだろうか？ その間に市立川崎高校創立百周年を迎え、又、中高一貫校になりました。そして新中学生が今年三月に卒業、四月に高校へと進学します。

この様なときに同窓会に

携わったことで本当に素晴らしい経験をさせていただきました。今後、さらに母校が発展していくことを心より願っています。

今私は元気のいい仲間達と自分の健康のため、そして地域の人のために、いきいきと活動しています。又、詩吟で大きな声を出し、手芸でかわいい小物作りをしたりしています。一日一日を大切に過ごして行きたいと思っております。

尚、同期会やクラス会、近況報告等がありましたらぜひご投稿下さい。よろしくお願い致します。諸先輩方の助けを借りながら頑張っております。

昭和三十八年卒 寺地美恵子(高梨)

四面担当 竹内 義雄
 松本 茂
 伊藤三千代

計報

太田哲彦十四代校長先生 平成二十年十二月ご逝去 平成二十九年四月 六十二年三月 理科科 昭和六十二年四月 校長 平成二十八年三月迄

携わったことで本当に素晴らしい経験をさせていただきました。今後、さらに母校が発展していくことを心より願っています。

今私は元気のいい仲間達と自分の健康のため、そして地域の人のために、いきいきと活動しています。又、詩吟で大きな声を出し、手芸でかわいい小物作りをしたりしています。一日一日を大切に過ごして行きたいと思っております。

尚、同期会やクラス会、近況報告等がありましたらぜひご投稿下さい。よろしくお願い致します。諸先輩方の助けを借りながら頑張っております。

昭和三十八年卒 寺地美恵子(高梨)

四面担当 竹内 義雄
 松本 茂
 伊藤三千代

かわさき宿交流館

宿は東海道の五十三次のひとつとして栄えた宿場町です。現在の川崎の町の始まりです。交流館は、歴史・文化を学び、地域の活動・交流の場として存在しています。

かわさき宿交流館 散策を楽しみながら川崎の町の文化や情報を共有しては如何でしょうか？

〒210-0801 川崎市川崎区本町一丁目一八四番地

電話 〇四四二八〇七三三

ご利用案内 展示室/休憩・交流スペース(貸し会議室)

時間 九時～十七時

入館料 無料(部企画展を除く)

休館日 月曜日(休日は開館)

所在 川崎区本町一丁目一八四番地

電話 〇四四二八〇七三三

アクセスマップ